

2025年10月1日
KHネオケム株式会社
(証券コード 4189、東証プライム)

KHネオケム、「BioJapan 2025」出展のお知らせ

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、2025年10月8日(水)~10月10日(金)にパシフィコ横浜で開催される、「BioJapan 2025^{※1}」に出展いたします。株式会社糖鎖工学研究所と共同で企業ブースを設置するほか、パートナーリングに参加いたします。

BioJapan は、展示・セミナー・パートナーリングから構成される、アジア最大級のバイオ産業イベントです。世界各国の製薬企業、バイオベンチャー、大学・研究機関が集結し、最新の研究成果や技術を紹介するとともに、ビジネスマッチングを通じた新たな産業創出を推進しています。毎年、多数の国内外企業が参加し、オープンイノベーションの促進やグローバルな連携の場として注目を集めています。

当社ブースでは、糖鎖の研究用試薬や糖ペプチドの受託合成サービスを紹介いたします。パートナーリングでは、当社の研究開発の成果を含む糖鎖の活用事例について紹介し、新たな共同研究・事業化の可能性を探索いたします。

<糖鎖について>

当社は、VISION 2030^{※2}の実現に向けて、「環境」「ヘルスケア」「エレクトロニクス」を戦略ドメインと定め、新規事業の創出を目指しています。ヘルスケアドメインにおいては糖鎖の可能性に注目し、これまで独自の糖鎖及び製造技術を開発してきました。

糖鎖は、生体内においてタンパク質や脂質に結合し、細胞表面や細胞中に存在しています。これらの糖鎖は生体内で起こる様々な生命現象に関与していることから、核酸、タンパク質に並んで「第三の生命鎖」と呼ばれています。

また、糖鎖は結合している物質の機能や安定性に影響を及ぼすことが知られており、細胞表面に存在している糖鎖は、細胞の接着や分化など様々な生命現象にも関与していることから、糖鎖の異常によって引き起こされる病気や疾患も数多く存在しています。そのため、生命現象の解明や新薬の開発など、生命科学の分野において糖鎖の研究開発が盛んにおこなわれています。

一方、糖鎖は、その構造の多様性から人工合成が難しく、大量かつ安定供給が学術の更なる振興と産業利用において課題となっています。当社では、独自の糖鎖製造技術を開発し、さまざまな種類の糖鎖を大量かつ安定して供給することで、学術研究の振興と産業利用の加速を目指しています。

【出展概要】

イベント名	BioJapan 2025
主催	BioJapan 組織委員会 (代表責任団体:一般財団法人バイオインダストリー協会) 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
開催期間	2025 年 10 月 8 日(水)~10 月 10 日(金)
会場	パシフィコ横浜 https://www.pacifico.co.jp/access
ブース番号	C-73
展示内容	・研究用 N 型糖鎖試薬 ・糖鎖を用いた創薬研究開発 ・糖ペプチドの受託合成 ・糖鎖分析サービス など
企業 URL	・株式会社糖鎖工学研究所 https://www.glytech.jp/ ・KHネオケム株式会社 https://www.khneochem.co.jp/

■糖鎖について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/features/glycans/>

※1 「BioJapan 2025」について

<https://jcd-expo.jp/jp/about.html>

※2 「VISION 2030」について

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4189/ir material for fiscal ym/56482/00.pdf>

【KH ネオケムについて】 ※2024年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010 年 12 月(前身の協和油化は 1966 年 11 月設立)	
資本金	8,855 百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結 829名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料およびインキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948 年	協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949 年	協和発酵工業設立(現:協和キリン)
	1966 年	協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社)
	2004 年	協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足
	2011 年	協和発酵ケミカルが協和発酵キリン(現:協和キリン)グループから独立
	2012 年	協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更
	2016 年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2018 年	VISION 2030 策定
	2019 年	オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設
	2022 年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

◆一般の方からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 イノベーション戦略部
TEL: 03(3510)3600

◆報道関係者からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>